

2022年 7月13日発行

日本音楽療法学会中国支部

ニュースレター 第40号

事務局 〒731-0295 広島市安佐北区可部東 1-2-1
広島文教女子大学 木村研究室内
TEL・FAX : (082) 814-3161
e-mail : jmta-cc@h-bunkyo.ac.jp
ホームページ : <http://jmta-cc.org/>

ごあいさつ

中国支部支部長 武田千代美

大変に早く、そして暑い暑い夏の到来となりました。

中国支部会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか？中国支部よりニュースレターをお届けいたします。

コロナウイルスは色々と形を変えて、私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。いまだに収束とはならない状況の中ではありますが、私たちは多くの制約の中、ワクチンの副反応にも耐え、それなりの生活をしている日々です。

施設にいて2年以上も面会のできない家族、小学校に入学してから普通の運動会や遠足が一度もない小学3年生、マスクをした保育士の顔しか知らない2歳児、私の周りの色々な人々の事を思うとき、この2年半の間に失われたものの大きさを感じます。また、それらを乗り越えて生活していこうとする人の力強さも感じています。

このような状況の中、中国支部は第22回学術大会を開催すべく、現在準備を進めております。現地での開催をするのか、オンラインで開催するのか、実行委員のメンバーは、一時期毎日悩み、メールのやり取りを繰り返しました。現地とオンラインでの併催と決まった今も、今後の状況に不安を抱きながら、それでも学会の成功に向けて、日々準備を進めております。

学会が開催される頃、感染症の状況が良くなっていることを祈るばかりですが、まずは中国支部の皆様にご参加いただきたくお願いをいたします。

ご案内は岩永大会長のお誘いにある通りですが、地方の支部が担当する大会の良さを演出しながら、工夫を凝らしていきたいと思っております。よいアイデアがありましたら是非お寄せください。中国支部会員の皆様のお力をお借りしてこの全国大会を成功させたいと思っております。

よろしくお願ひ申し上げます。

先般の学会の役員改選を受けまして、中国支部では木村敦子先生、中島恵子先生、松原まゆみ先生が役員をお引きになられました。

先生方にはこれまで多大なるご尽力を頂きました。この紙面には書き尽くせませんが、先生方と音楽療法学会の始まりからご一緒させて頂きましたこと、宝物と思っております。厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

後任の役員には、石井明子先生、中田哲也先生が選出されました。ご活躍を心より期待いたしております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

中国支部 支部役員新体制についてのお知らせ

2022年2月に執り行われた日本音楽療法学会代議員選挙の結果に伴い、中国支部役員につきましても役員定数の変更と役員の入替わりがありました。

支部役員の定数に関しましては、支部会員数によってその定数が定められており、中国支部は、これまでの6名定数から5名定数に変更となりました。これまでの6名の役員のうち、3名が退任し、新たに2名の役員を迎え、6月からは下記5名の新体制で頑張っております。
どうぞ宜しくお願いいたします。

支部長 武田千代美
副支部長 岩永 誠
事務局長 石井 明子
倫理委員長 頼島 敬
編集委員長 中田 哲也

尚、これまで木村敦子事務局長のもと、事務局員として支部の事務業務を担っておりました合木明子もこの度で退任となりますことを併せてお知らせいたします。

～ 退任および新任役員からのご挨拶 ～

木村敦子（退任）

この度、支部事務局長を退任し、その業務を石井明子新事務局長に引き継ぐことになりました。2005年に事務局長を拝命してから17年間、広島文教大学に事務局を置き、支部運営が円滑にいくよう、努めて参りました。この間、コロナ禍における講習会、大会の開催延期など、支部の会員の皆様への情報提供が不十分であったことは否めません。全国的にはオンラインによる講習会開催、大会開催が実施されるだけでなく、音楽療法士同士のオンラインを活用した取り組みが行われるようになってきています。中国支部でもオンライン開催を実施しましたが、不慣れな中で行いましたので、十分に機能したとは言えない状況でした。今後は、事務局員として、石井事務局長とともに、支部運営に携わらせていただきます。17年間の皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げますとともに、今後ともよろしく願いいたします。

中島恵子（退任）

長い間、本当にお世話になりました。
任命された当初、先生方からお気遣いあふれる言葉を多くいただいたことを思い出します。
会議の度に緊張していた私が、支部大会を引き受ける度に「自由」になっていくように感じていました（!?!）。
新しく役員になられた方々のこれからの御活躍、そしてますますの音楽療法の発展をお祈りいたします。
今後ともどうぞよろしく願いいたします。

松原まゆみ（退任）

長く務めさせて頂きました支部役員をこの度で退任させていただくこととなりました。支部の立ち上げ時から武田支部長はじめ他役員の先生方、そして何より支部会員の皆さまには大変お世話になりました。たくさんの良い出会いと学びを頂きましたことを心より感謝申し上げます。

ここ2年はコロナ禍のため支部としての活動の多くをおこなえなかったことが心残りであり、会員の皆さまにも申し訳ない思いですが、今後は新しい役員の方々のお力も加わり活発な活動が展開されることを期待しお祈りしております。

役員は退任しますが、これからも支部の活動のために影ながら尽力出来ればと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

合木明子（退任）

このたび6月末をもちまして、事務局員としての役を退任することになりました。2005年広島文教女子大学（現在、広島文教大学）に事務局が移転してからの17年間、ご指導いただきながら微力ながらもお手伝いさせていただいたことを心から感謝申し上げます。

これからも支部の一会員として引き続きお世話になります。どうぞ宜しくお願い致します。

石井明子（新任）

先日の選挙にて、支部役員に就任いたしました。今まで、支部役員の方々におんぶにだっこの状態でしたので、今後は微力ながら支部や学会のお役に立ちたいと思っております。

これまで役員の方々や支部会員の皆さまが作ってこられた中国支部のあり方を大事にしながら、更に良いものになるよう努めてまいりたいと思います。そのためにも、色々な場面で支部会員の皆さまのお声を聞かせていただくと幸いです。様々な立場やお考えのもと、色々な方法で音楽療法をされている皆さまのお知恵やお力をお借りすることで、一層充実した中国支部になるであろうと思っております。どうぞよろしく宜しくお願いいたします。

中田哲也（新任）

この度、評議員に加わることになりました中田哲也と申します。これまで児童発達支援センターや精神科病棟などで務めて参りましたが、評議員の重責は初めてであり、至らぬ事も多いとは存じます。皆様にはご厚情を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

総会議案の承認について

中国支部 2022 年度の総会は、コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会資料の郵送をもちましてこれに代えさせて頂きます。

会員の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご了承を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

♪♪♪ 第22回 日本音楽療法学会全国大会 ♪♪♪ 広島市で開催されます

第22回音楽療法学会全国大会(広島大会)開催について

ご挨拶

大会長 岩永 誠

2022年の第22回日本音楽療法学会全国大会は、2022年9月16日(金)～18日(日)に広島市の平和記念公園内にある広島国際会議場で開催いたします。第22回学会大会は、現地での開催とオンデマンド配信の併催という、新しい形態での開催となります。大会会場における対面での開催は3年ぶりとなります。久しぶりに直接会って、いろいろな情報交換ができることとなりました。ぜひ旧交を温めていただきたたいと思います。

第22回学会大会は、「コミュニティでの共生を支える ～音楽療法の役割を考える～」をテーマとして、コミュニティにおける音楽療法の役割や活用について考えていきます。特別講演者に地域包括ケアシステム研究の第一人者である田中滋先生をお招きして、地域包括医療についてのお話をさせていただきます。また、会場での録画映像による視聴となりますが、コミュニティ音楽療法の権威であるブリュンユルフ・スティーゲ先生からコミュニティ音楽療法についての基調講演をさせていただきます。この基調講演を受けて、大会企画シンポジウム「コミュニティでの音楽療法の役割を考える」において、各地で行われてきたコミュニティにおける音楽療法の事例を取り上げ、日本におけるコミュニティ音楽療法のあり方について考えたいと思います。従来の音楽療法に加え、大規模災害の被災者支援や認知症予防のためのニーズが高まっている現在、地域に根ざし、地域のニーズを踏まえた音楽療法を行うために、どのような活動ができるのか、また、どのように地域と協働できるかを考えることは大切な課題となっています。このほか、教育講演として、肥後功一先生から子どもの情緒や言葉、関係性の育ちと支援についてお話させていただきます。また、講習会はワークショップを対面で、講義をオンデマンドで行います。多くの学会員の方々の今後の活動に役立つ内容となるよう企画しておりますので、ぜひご参加いただければと思います。

コロナの感染拡大から2年が過ぎ、ウィズ・コロナの時代へと移行しつつある中、大会会場では検温や消毒等の感染防止対策をしっかりと行ってまいります。大会会場で皆様とお会いできることを楽しみにしております。とはいえ、時間の都合で会場にお越しになれない支部会員の方もおられると思います。オンデマンドで参加していただき、情報を共有していただければと思います。広島県内の会員の方にとっては広島市での全国大会は参加しやすい大変貴重な機会となると思われますし、県外の会員の方も翌19日は祝日(敬老の日)ですので、広島での観光もぜひ楽しんでいただきたたいと思います。

皆様のたくさんのご参加を、関係者一同こころよりお待ちしております。

全国大会(広島大会)準備状況とご挨拶

大会実行委員長 頼島 敬

第22回日本音楽療法学会全国大会、大会実行委員会では9月16日(金)～18日(日)に広島国際会議

場において開催予定の全国大会に向けて、鋭意準備を進めております。

本大会は現地開催とオンデマンド配信による併催を予定しております。各プログラムの開催形態は以下の通りです。

大会企画講習会：オンデマンド配信のみ

大会企画講習会(WS)：現地のみ（一部オンデマンド配信あり）

本部企画講習会：現地のみ

大会講演：現地およびオンデマンド配信

大会企画シンポジウム：現地およびオンデマンド配信

研究発表：現地およびオンデマンド配信

演題発表募集は6月8日に締め切り、現在査読審査中です。参加登録開始は、7月20日(水)～となります。7月中にDM案内の発送を予定しており、ただいまその準備をおこなっているところです。

猖獗を極めた SARSCov-2 による新型コロナ肺炎の流行も現在相当落ち着いてきており、6月19日の理事会を経て3年ぶりに9月16日(金)～18日(日)に広島市の平和記念公園内にある広島国際会議場で対面形式の現地開催が決定されました。まだ不確定な要素もあり、上記の通りオンデマンド配信と併催の予定です。

研究発表も今大会では初めて、現地とオンデマンドと2形態での発表が応募者に課せられましたが、企画研究発表計13演題をはじめ既に無慮90題近い演題が集まっております。

7月20日(水)には参加登録開始となります。状況が落ち着いておりましたら、是非来年のG7開催地である平和都市広島でお会いできますことを心待ちしております。

振り返りますと、2004年、やはり中国支部主催により倉敷の学術大会でご講演いただき好評を博したブリュンユルフ・スティーゲ先生が再び基調講演をされます。今大会のテーマ「コミュニティでの共生を支える～音楽療法の役割を考える～」にこれほどふさわしい音楽療法士は考えられず、我が国にも浸透してきたコミュニティ音楽療法に、この18年でパラダイムに変化があったのか強い関心を持ってお迎えしたいと存じます。

一方地域包括ケアシステムの第一人者田中滋先生から、その要諦をご講演賜ります。住み慣れた場所で安心して自分らしい生活を営む。かつてはごく当然であったその営みのために今や保険・医療・福祉が連携することが骨子であることは多くの会員の皆様は既にご存知だと思います。スティーゲ先生の意味されるコミュニティ、と地域包括ケアを直接対応させることはリスクがあるかもしれません。しかしその中で、大きな共通点が見いだせるのではないか、というのが実行委員長としての私の非常に大きな関心であり期待感です。

一方、新型コロナ肺炎の流行は音楽療法の世界にも暗い影を落としました。クライアントが好む歌唱が禁じられてしまったり、はては音楽療法そのものを禁じてしまった病院や施設も少なくありませんでした。これらについてそろそろ総括的に分析し今後の対応策を検討する時期がきているのではないかないかということで、コロナ関連のシンポジウム→学会からの報告講演および関連の企画発表も予定されています。

また、肥後先生の教育講演も小児関係の音楽療法にご興味ある方だけでなく広く拝聴いただきたい分野です。

大会長の岩永先生がおっしゃるように、大災害時の音楽療法のあり方にも配慮が必要でしょう。何より今期学術大会準備中に勃発したロシアのウクライナ侵攻は大きな衝撃がありました。しかし、そのような際に音楽は自然発生的に人々を慰め、いやし、鼓舞した報道も多くなされました。この混沌とした時代と、音楽療法の行く末。ご一緒に真剣に考える場所にいたしましょう。広島でお待ち申し上げております。オンデマンドも有効にご活用されることを祈念しております。



今後の支部活動のお知らせ

2022年度ラーニングサポートセンター(LSC)研修会

開催時期：2023年 1月～3月辺り

開催場所：未定

内 容：未定

*詳細が決定次第、支部HPにアップロードします

中国支部 第21回支部大会・第27回講習会

本来であれば2020年5月に山口市で開催予定であった中国支部・第20回支部大会および第27回支部講習会は、コロナ感染拡大の状況により延期となりました。翌2021年も対面での大会は叶わず、支部役員主催のオンラインでの支部大会開催となりました。来年山口市で開催予定の大会は、3年ぶりの対面での大会となります。

開催日時：2023年5月27日(土)・28日(日)

開催場所：山口県総合保健会館(山口市)

大会長：仮屋 瑞穂



学びの窓

広島県府中市社会福祉協議会における最近の動向

～遠隔音楽療法を通じて～

広島県府中市社会福祉協議会

野路恵美

広島県府中市社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染拡大にともなう諸問題について検討を行い、通常の音楽療法「対面での実践」に加え、新たな取り組み「遠隔での実践」も取り組んでいます。

ここ最近では、今まで中止していた施設や病院が「遠隔での実践」を希望されるケースも増えてきました。

遠隔音楽療法を導入してよかった点は、2年間中止していた現場とも再びつながることができたことです。実際に行ってきた中で感じたことをまとめてみます

【遠隔音楽療法の利点】

1. 外出移動が困難な方々にも音楽療法を届けられる
2. 様々な場所から受けることができる
3. 移動時間の短縮（楽器移動）
4. パーソナルスペースが作れる（受ける側）
5. 伝え方の工夫をするなど音楽療法士のスキルアップに繋がる
6. 継続支援がしやすい

【遠隔音楽療法を行うにあたっての工夫や配慮】

1. 遠隔特有のタイムラグがあることをあえて利用（音楽が止まったら楽器を鳴らすのを止めるなどのやりとり）
2. リアクションや表現方法の明確化（2択問題などで「紅白旗」を使用。分かったら旗をあげる）
3. 音楽のメッセージ性を強めるために、パワーポイントでスライドを作成する（曲にまつわる風景やイラスト/文字のアニメーション）
4. 施設や病院では、関係者と連携を密に行う
（施設側の進行役・活動内容・方法・安全確保など）
5. 予測不能な機械トラブルについては、その時の状況で最善な対応を選ぶ
（例：ウェブカメラ予備、シャットダウン後再接続、セッション中断中止など）

【今後の課題と展望】

1. 集団の場合、参加者の様子が見えにくい（発言の有無、記録の難しさなど）
2. 施設や病院側の設備関係の課題（機材問題・ネット環境など）
3. 音楽療法士は遠隔音楽療法のための活動バリエーションを増やしていきたい
（オンラインに適した活動内容の工夫）

今までは対面での音楽療法を主体で行っていたので、実際「遠隔音楽療法」を導入するにあたり、様々な不安はありましたが、私たちが思っていた以上に需要があることを実感しています。様々な課題もありますが、入院などで現場での実施が困難になったケースや、外部の受け入れが困難な施設や病院においては、支援を途切れることなく継続できています。

今後も「対面での実践」と「遠隔での実践」を引き続き行っていきたいと考えています。

音 で つ な が る 心 と 心

コロナ禍で、始まった新しい取り組み

* 遠隔音楽療法 *



個人セッション



入院中にリモートで参加しました。退屈な入院生活の中で、大好きな音楽療法ができて、いつもに増して楽しくできました。

心も体もリフレッシュできました



S・M・T (スマイルミュージックセバー)
受講者 親子

自宅から出るのが難しい方などにも音楽療法を届けられます！！



集団セッション



準備を含め利用者&職員もドキドキでした。お一人ずつ画面越しのやり取りを体験できよかったです。みなさんと一緒に歌いながら自由にリア外して完成させたお月見ボードに当日の楽しい気持ちが表現できており、とてもよかったです。今度は感染防止対策で離れた席に座っている人にも伝わりやすいように大きな画面でやってみたいです。



福祉サービス事業所 管理者

* ビデオレター *

すきな時に、いつでもどこでも観ることができます！

ご要望に応じてDVDを作成します



普段は音楽療法に参加できない方も一緒にDVDを見ることが出来ました。楽しみながら口腔ケアや体操ができ、とても良いです。繰り返し見て馴染みもでき、患者さんから「またみたい」の声もあるので続けてやっていきたいです！！



病院 作業療法士

* コンサート * 期間限定

聴くだけなので安心して参加していただけます。



昔の曲を生演奏で聴くことで、懐かしい思い出がよみがえり、リフレッシュすることができました！！コンサートは聴くだけなので、コロナ禍でのサロン開催でも、人を誘いやすいです。感染対策もしっかりされていたので安心しました。



ふれあい・いきいきサロン長

ミニコンサートを実施中

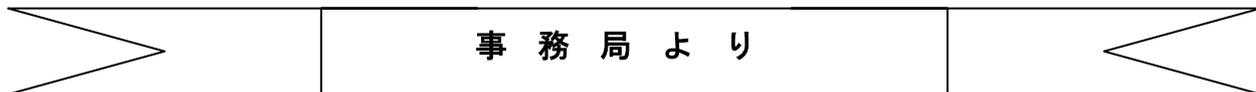


講習会のお知らせ



中国支部ホームページで各認定団体主催の講習会の開催予定をお知らせします。

参加のお申し込み、お問い合わせは、直接、各認定団体に行ってください。支部事務局ではお取り扱いできませんので、ご了承ください。また、これ以降に認定された講習会については、随時、中国支部ホームページ上に掲載いたします。各認定団体の連絡先は、中国支部ホームページでご確認ください



♪ 会員の異動および住所変更について ♪

会員の皆様が、転居等により支部を移られる場合、あるいは、住所変更された場合は、すみやかに日本音楽療法学会事務局（下記連絡先）にご連絡ください。支部事務局では、学会事務局から隔月に送られてくる名簿により、発送の事務を行っております。したがって、支部事務局に住所変更、入会・退会のご連絡をいただきましても、支部ではお手続きができませんので、ご承知おきください。

住所・名義の変更は、インターネット上で行うことができます。日本音楽療法学会ホームページ <http://www.jmta.jp/formalities/change.html> から変更してください。

また、大学卒業後も学生会員のまま、登録変更をされてない方がおられます。学生会員の方は、卒業後すみやかに正会員への変更手続きを行ってください。

入会・退会手続き 会員区分変更手続き 住所変更手続き 等につきましては、

会員番号 氏名 旧住所（旧所属支部） 新住所 を明記され、学会事務局にご連絡ください。

日本音楽療法学会事務局
〒105-0013 東京都港区浜松町1-20-8 HK浜松町ビル6階

また、お届けの住所の居住者表示と会員の苗字が異なる場合は、「～方」までお届けください。学会事務局及び支部事務局からお送りする学会ニュース等は、メール便で送られるため、居住者表示と異なる場合、返送されるようになっており、お届けできておりません。

転居して他支部へ所属が変わられる際には、住所変更をしていただきますと、学会事務局で自動的に所属支部の変更を行いますので、支部の変更手続きは必要ありません。

